

実践者研修『事前提出課題』【様式 1-1・1-2・1-3】について

別紙

講義・演習の 5 日目までを受講後、受講者が所属する自施設・事業所にて 4 週間の『自施設実習』を行います。

受講にあたっては、本実習の意義・スケジュール等を予め下記によりご確認ください、**実践者研修『事前提出課題』【様式 1-1・1-2・1-3】**を記入して、事前提出をお願いします。

1. 自施設実習の目的

研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができ、かつアセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践に関する計画やケアの実践を展開できることを目的とする。

2. 自施設実習の到達目標

- ① 研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズをアセスメントできる。
- ② 認知症の人の生活の質の向上を目的にした実践計画を遂行できる。
- ③ 実践計画をもとに各職場の理解を得ながら、認知症の人の生活支援に関する実践が展開できる。

3. 事業所の長・直属の上司様へのお願い

- ① 受講者は自施設・事業所において、研修中に設定した課題に対して実習を行います。実習が円滑かつ効果的に進むように、本研修の趣旨のご理解と受講者へのご協力をお願いします。
- ② 実習では、事前課題【様式 1-2, 1-3】へ記入した 2 事例のうち、1 事例を選定し、実習を行います。実習を行うにあたって、対象者となる利用者の方ご本人やご家族に同意をいただくこととしております。円滑に同意を得ることができるよう、ご配慮をお願いします。
- ③ 実習の 1 週目において、他の職員へ実習の内容や課題等を説明・共有するためにカンファレンスを開き、周知することとしております。施設・事業所全体で取り組むために、ご配慮をお願いします。

4. 自施設実習のスケジュール

事前課題	・自身・自事業所における認知症介護の課題の整理 ・実習対象候補者に対する事前のアセスメント（2 事例）
5 日間の講義・演習	・実践的な知識の習得 ・実習対象者の選定 ・実習対象者についての事前のアセスメント ・自施設実習の課題設定と自施設実習計画策定
自施設実習（1 週目）	・対象者ご本人・ご家族への説明と同意 ・（必要があれば）再アセスメント→実践計画の追記・修正 ・事業所内でのカンファレンス（実習の内容の共有） ・自施設実習実践計画兼経過記録の作成 ・週ごとの記録と上司への報告
自施設実習（2 週目）	・実践計画に基づく実践と記録（上司への報告） ・中間評価（上司への報告）
自施設実習（3 週目）	・実践計画に基づく実践と記録（上司への報告）
自施設実習（4 週目）	・実践計画に基づく実践と記録（上司への報告） ・自施設実習報告書の作成（上司及び所属長のコメント） ・報告資料（提出資料）の作成
6 日目 （自施設実習評価：報告会）	・作成した資料を基に報告、相互言面、アドバイス ・今後の取り組み課題の明確化 ・修了認定 ※報告内容によっては、再提出・追加レポート等を課す場合があります。
研修後	・自施設での報告（カンファレンスでの共有）